



東 北 方 面

渡波町の海岸道路

宮城縣渡波町に於ける海岸道路、即ち灣口から入舟町埋立までの道路の中、第一期工事として昭和三年度に於て灣口から渡場まで百三十餘間の完成を告げ、自動車も自由に通ずる様になつたが、殘部の渡場から入舟町埋立地間百十一間を第二期計畫として工費八千圓を計上し、縣の補助を申請した。右工事完成の曉には同町の海岸通は

四間巾の大通りになり埋立地は祝田の架橋豫定地になつて居り従つて一般船舶の水揚げ輸送に便利であると共に港灣施設としても至極重要で五年度事業として是非完成せしむるといふ。

東 海 方 面

美濃「太田橋」竣工祝賀會

「下に居れ、下に居れ」と懸聲高く關西九州方面より大江戸へ參勤交代の諸大名の行列も美濃の國「太田の渡」には少からず惱まされたと傳へられ、又「木曾の懸橋

太田の渡 碓氷峠がなくばよい」と馬子に唄はれ多くの傳説と史跡を残した中仙道の難所たりし太田の渡しに四圍の美的對照を考慮し裝工して竣工を告げた。太田橋は岐阜縣加茂郡古井町と、同縣可兒郡今渡町に通ずる國道第十四號の木曾川に架設せしものにして、大正十三年二月工事に着手以來滿五ヶ年の日子と經費四十六萬四千三百餘圓と工事擔當者の努力とによりて、工程豫期の如く進捗し愈完成したりしを以て、五月晴に風薫る五月端午の節句を期して、同橋上本流筋と洪水敷の中間、中洲に設けられし式場に於て盛大なる竣工祝賀式を舉行せり。

此日太田、今渡、古井の各町は何れも舉町一致裝飾を凝らして歡喜に満ちり、式は午前十時伊藤土木課長の舉式の挨拶に始まり、金澤知事の式辭、來賓内務省土木局道路課長丹羽書記官は、望月内相の祝辭を又道路改良會都統幹事は、水野會

長の祝辭を何れも代讀し、次て平井本縣選出代議士久富縣會議長（石榎副議長代讀）等の祝辭あり續て日比野協贊會長の謝辭、祝電披露、伊藤課長閉式の辭ありて全く式を終れり。

來賓一同折詰冷酒の饗應を受け後、同橋下より十數艘の舟に分乘し、木曾の激流に棹して、翠綠滴る日本の勝景を觀賞しつゝ犬山橋畔白帝城下の彩雲閣に入り、

祝賀會に臨み歡を盡して夕方解散せり。

尙當日地元太田、古井、今渡の各町協贊會にては打上げ煙火、素人角力、獅子舞、餅投げ、變裝行列、實探し等多數の催し有り附近各町村より集りし萬餘の群衆は附近一帶人を以て埋め近來になき賑を呈せり。

當日に於ける知事式辭、内務大臣、道路改良會長、縣會議長其他の祝辭並謝辭は左の如し（岩島岐阜縣屬報）

式 辭

國道十四號木曾川筋太田橋架設工事竣功シ

茲ニ本日ヲ以テ祝賀式ヲ舉ケ抑々本橋架設地點ハ縣下東濃西濃地方連絡ノ要衝ニシテ

交通上極メテ重要ノ位置ヲ占ムルト雖モ古

來木曾川ノ大流其ノ間ヲ遮斷シ纒カニ渡船

ニ依リテ之カ連絡ヲ圖リタルニ過キサリシ

ヲ以テ交通上ノ至難難ニ名狀スヘカラサル

モノアリ地方人士深ク之ヲ遺憾トシ橋梁ノ

架設ヲ翹望スルコト既ニ久シ本縣亦銳意之

カ實現ヲ期セシニ機漸ク熟シ國庫ヨリ多額

ノ補助ヲ得大正十三年二月工テ起スニ至レ

リ爾來政府當局竝地方人士ノ熱心ナル援助

ト關係者ノ奮勵トニ依リ工程豫期ノ如ク進

捗シ年ヲ閱スルコト六年茲ニ全ク竣功ヲ告

ク結構未タ善美ヲ盡セリト謂フ能ハサルモ

堅牢ニシテ觀望ノ壯麗ナル縣下橋梁ノ一大

偉觀ナリト云フヘシ

今ヤ渡船ニ依ル不便ハ一掃セラレ交通運輸

ノ便大ニ開ケ地方ノ繁榮之ニ依リテ一新紀

元ヲ劃セントス是洵ニ欣快ニ堪ヘサルナリ

希クハ自今良ク本橋ヲ利用シ産業ノ開發文

化ノ促進ニ資セラレシコト一言以テ式辭トス

昭和四年五月五日

岐阜縣知事正五位勳四等 金澤 正雄

祝 辭

十四號國道太田橋架設工事成リ本日ヲシテ竣工祝賀式ヲ舉行セラル誠ニ慶賀ニ堪ヘサルナリ

抑々本箇所ハ古來中仙道ニ於ケル三大難所

ノ一トシテ行路ノ難ヲ訴フルヤ久シク纒ニ

渡船ニ依リテ交通ヲ便スルニ過キサリシカ

輓近交通ノ急激ナル發達ニ鑑ミ縣當局ニ於

テ夙ニ架橋計畫ヲ樹立シ地方人士ノ協力ト

政府ノ補助トニ依リ本橋ノ完成ヲ見ル

念フニ木曾路ノ交通之ニ依リテ其ノ面目ヲ

一新シ地方ノ開發産業ノ發展ニ寄與スルモ

ノ極メテ大ナルモノアルヲ疑ハス茲ニ祝賀

ノ盛典ニ方リ一言所懷ヲ述ヘテ祝辭トス

昭和四年五月五日

内務大臣 望月 圭介

祝 辭

國道十四號線太田橋架設完成シ本日ヲ以テ祝賀ノ式典ヲ舉ケラル邦家ノ爲メ洵ニ欣快ニ堪ヘサルナリ本橋架設ノ地點タル久シク渡船ニ倚リテ來往シタルニ過キサリシカ岐阜縣當局深ク之ヲ憂ヒ爰ニ架橋ノ計畫ヲ起スヤ政府亦之ヲ助成シ今乃チ宏壯ナル本橋ノ完成ヲ見ル惟フニ本橋開通ノ效果ハ地方産業ノ隆昌ヲ招來スルヤ必セリ本會道路ノ改良ヲ高調スル茲ニ多年今本橋ノ如キ著大ナル工事ノ完成ヲ觀衷心ヨリ祝意ヲ表スルト共ニ地方官民諸士力益々路政ノ進展ニ寄與セラレムコトヲ望ムヤ切ナルモノアリ祝賀ノ式典ニ方リ一言ヲ述ヘテ祝辭トス

昭和四年五月五日

道路改良會會長 水野鍊太郎

祝 辭

壯重ニシテ且華麗ナル太田橋ノ新工成リ本日此ノ橋上ニ竣工ノ盛典ヲ舉ケラレ余亦此席ニ列スルヲ得タルハ實ニ欣快トスル處ナ

リ惟フニ本橋ハ加茂可兒兩郡ヲ通スル往來ノ要路タルノミナラス當ニ東濃地方ニ於ケル交通ノ衝點ニ當ルヲ以テ爰ニ縣當局ハ多額ノ資ヲ投シテ此ノ地ニ架橋ヲ計畫シ爾來數ケ年ヲ經テ今日此ノ新橋ノ威容ニ接スルヲ得タリ纔ニ渡船ノミヲ以テ交通シタル往時ノ狀態ヲ回想セハ洵ニ隔世ノ感ナキ能ハサル所ナリ

抑々本縣ハ大正十年臨時縣會ニ於テ總額壹千餘萬圓ヲ計上シ國縣道七百餘萬圓ヲ計上シ國縣道七百餘里ニ對スル根本的改良計畫案ノ樹立ヲ見タリシカ本橋ハ其ノ計畫ニ基ク工事ノ先鞭ヲ着ケタルモノニシテ且最モ著大ナルモノナリ而シテ國策トシテ近時唱道セララル、所謂産業道路改良計畫ノ趣旨ニモ合致スルモノニシテ將來當地方ニ於ケル産業ノ振興ト共ニ地方文化ノ進展期シテ待ツヘキモノアルヲ信ス洵ニ本縣將來ノ爲ニ慶賀ニ堪ヘサル所ナリ一言以テ祝意ヲ表ス

昭和四年五月五日

岐阜縣會議長 久富宇三郎

祝 辭

今後洪水横溢シ急湍威ヲ逞フスルモ意トスルニ足ラス實ニ重要國道タルノ權威全キヲ得更ニ地方民ノ蒙ル恩惠偉大ナリト謂フヘシ殊ニ近時日本ライオンハ天下ニ名聲ヲ博シ畏クモ聖上陛下親シク御臨幸アラセラレ御觀賞ヲ垂レ賜ヒシヨリ愈觀客來往其滋キナ

昭和四年五月五日

觀賞ヲ垂レ賜ヒシヨリ愈觀客來往其滋キナ

加エ今後本橋ヲ中心トシテ上下十數里ニ亘ル一大公園ノ實現ヲ見ルノ時期蓋シ遠キニアラサル可シ本橋ハ此場合ニ處シ大ニ意義ヲ成ス事疑ヲ容レズ亦以テ本縣ノ一大名橋トシテ誇ルニ足ル可シ本日ノ盛典ニ際シ一言以テ祝辭ト爲ス

昭和四年五月五日

謝 辭

衆議院議員 平井信四郎

太田橋架橋工事全ク竣リ本日茲ニ其ノ祝賀ノ式ヲ舉行セラル、ニ當リマシテ閣下竝ニ朝野ノ貴賓各位方多數御臨場ヲ得マシタノハ本會ノ深ク光榮トスル所テアリマス古來中仙道ノ難所ト謳ハレタ太田ノ渡モ多年地方ノ要望テアリマシタ架橋カ幸政府竝ニ縣當局ノ深甚ナル御同情ト最善ノ努力ニ依リマシテ去ル大正十二年起工セラレタノテアリマス爾來數星霜其ノ間幾度ノ政變又ハ本縣ノ長官ノ御更迭カアリマシタカ工事ハ着々ト進

地方通信

抄致シマシテ茲ニ竣工チ告ゲタノデアリマス其ノ堂々タル雄姿ハ此ノ木曾川ノ絶勝タル日本ラインノ名聲ト共ニ天下ニ謳ハレツ、アリマス地方交通ノ爲メ誠ニ欣快ノ至リニ堪ヘマセン

ソシテ古來ノ原始的貧弱ナル渡舟時代ヲ回想致シマスレバ轉々隔世ノ感ガ致スノデアリマス是レハ聖代善政ノ表現テアリ文化ノ惠澤デアリトハ云ヘ偏ニ茲ニ參列ヲ得マシタ政府竝ニ本縣當局各官及地方各位ノ深甚ナル御盡力ノ賜テアル事ト深く信ズルノデアリマス

本日ノ此ノ記念スベキ竣工式ニ當リマシテ最モ恩惠ヲ得タル關係三ヶ町ガ協賛會ヲ組織致シマシテ滿腔ノ誠意ヲ披瀝シ謹ンテ衷心ヨリ感謝ノ意ヲ表スルモノデアリマス茲ニ一言申述ヘマシテ謝辭ト致シマス

昭和四年五月五日

道路愛護デ!

今渡町 太田橋竣工祝賀式 太田町聯合協賛會長 古井町

愛知縣豐橋土木工區管下に於ける道路愛護加入ノ二十五團體は五月一日道路愛護デ!を催し路面の修繕を行つたが、渥美郡牟呂吉田村の青年團では左の如き道路を愛護する宣傳標語を印刷し村内に配布した。

△田畑の耕作に際し雜草小石等を道路に捨てぬこと

△塵芥藁等を路面に置かぬこと

△肥料又は土砂等を道路に棄てぬこと

△道路に物を乾さぬこと

△道路に汚水を流さぬこと

尚ほ増土工區所長は近々に加入團體の道路を實地踏査することに成つて居る。

北越方面

新津町の地元

負擔金支出反對

新潟縣小合白井兩村經由の府縣道白根線の改修工事費二十四萬一千圓を、關係町村の地價額、戸數、人口割にて其の多寡を決定し負擔金割當を行つたが、地元負擔金七萬二千餘圓の内新津町には三萬五千圓を負擔することになつた。しかるに改修の恩恵をあまり受けない新津が此の如く最も多く負擔する立場となつた爲、同町ではこれが支出に反對の聲が高い。殊に財界不況の上の様々の打撃があつて町財政逼迫の折柄阿賀浦道路の開鑿、上水道事業第一校舎の改築等々の當面問題さへも困難なるに今日新津町としては必要のない、寧ろ新津町商人の領域を侵すに都合よき道路改修費は到底支出されぬとて近く此の件に付町會に諮問することゝなつた。

土砂岩石の崩潰せる

三國街道の交通

新潟縣南漁沼郡三俣村から三國峠に通ず

る縣道は雪融けの爲め甚だしく破壊され、殊に三俣村十字堂附近から三國村字二居間は岩石崩壞八ヶ所、土砂崩壞四ヶ所甚だ交通危険なので通行は十字街道と稱する峠を迂廻してゐる状態で、目下管理者が専ら修理に努めてゐるが何分未だ殘雪のヶ所多きため工事も意の如くならず到底五月中には車馬の交通不可能であると。

上川西の縣道改修

本年度より工事費二萬五千餘圓で、約一里の間を改修することになつた新潟縣古志郡上川西村地内縣道黒島長岡線は近々改修個所を決定發表の筈なるも、同村では學校は横山及蓮瀉の二ヶ所にあり加ふるに兩校舎ともに腐朽狹隘改増築に迫られ居る状態にして該縣道改修を機會に通學上最も適當なる地に新校舎を建築することに村の意向が決定して居り、縣道改修の個所如何により敷地問題も孕んでゐることとて其の成行

は大いに注目されてゐる。

淺草山の會津

六十里越道路開鑿

新潟縣北魚沼郡入廣瀬村大字大白川の寶庫淺草山の道路は、福島縣南會津郡伊保村大字田込倉に通ずる俗に會津越と稱する道路にして、この開鑿は同地方の死活に關する重大なる問題故、數年前よりの懸案なるも道巾九尺延長一里にて工費一萬四千圓を要し縣補助は僅かに二分五厘、大字大白川部落のみにては到底負擔に堪へず本年は村の補助を得、縣の補助と相俟つて是非目的を達する意向である。

近畿方面

綠裝のモダン街路

大阪の中心をなす二十四間の幹線道路は時恰も行幸に際し居ることとて市當局も市

民も非常に緊張し努力して工事は意外に涉り、五月中旬に終了した筈であるが、新道工事は中央部に四間幅に枕をうち陛下のお召自動車御通過まで車輛類も一般歩行も差し止めて平坦を保持する豫定である。路面の状態は將來は、現在完成せる部分と同様にアスファルト木槐で鋪装せらるゝが地下電車の工事の爲近く掘りかへされるので當分は砂利にしておく。歩道は兩外側に三間づつ取りその内側に車道四間半を残して中央にプラタナスを街路樹として植え込んだ芝生を張り、綠化せる新道には照明燈を立てる。芝生の中央には散歩道として若干幅の道路を採り横斷路を處々に設けるのである。

中國方面

廣島市内の國道

電車線路へ移つさる

多年縣下の重要問題たりし廣島縣產業道路の改修も事業費一十萬圓十ヶ年經費の内初年度から三ヶ年度分に對する起債は過般内務省の認可を得たので、其内國道線の改修には縣當局は現在及將來の交通状態に鑑み廣島市内の國道線改修計畫を企て、現在國道線の東廣島驛前より西已斐驛に至る區間の道路を變更して市内電車線路を本路線に當てることとし、現在電車線路を擴張して十三間半となし之が前後の橋梁即ち現在電車鐵橋の架設せる猿猴川、京橋川、相生川、天満川の橋梁も道路幅員と同様十三間半とし、最近代式の鐵筋コンクリート橋を新に架設する筈であるが、其の實施は市の都市計畫街路網の整備と相俟つて、縣内道路交通の上に一大革新を齎すことば疑はな

美はしき子供會の道路奉仕

廣島縣雙三郡吉舎町鹽坂清見君は現在高

等科二年生であるが、昨年七月より小學校兒童を以つて子供會を組織し、會員毎朝工場の汽笛と共に起床して道路の掃除を奉仕してあるが、全く自發的行爲で父兄からは喜ばれ、篤志家からは芳志を受け、その芳志金は全部箒や、道具や、其の他の備品を購入することにしてあるが同町の有志等は此際何とか表彰したいものだといふ協議中であると。

九州方面

福岡縣道路改築起工式舉行

福岡縣會に於て昭和二年度に可決された産業道路改築十ヶ年計劃案(三千萬圓)は昨年末に主務省より起債の認可があり、工事着手の準備中の所、此程既定方針に基き第一期工事として福岡行橋線延長一萬百九十九米突工費百十二萬圓及宇美福岡線延長七千八百三十二米突工費二十五萬七千圓により

起工の事に決定し、其の起工式を五月十一日午前十時半から福岡市東公園龜山銅像前廣場に於て開催され福岡市、粕尾、筑紫郡の選出縣市議員關係町村長、警察官、地方有志等約三百名出席、神事終つて齋藤知事の式辭及來賓側より藤金作翁、藤縣會議員時實市長の祝辭あり、坂本土木課長閉會の辭を述べて立食宴に移り正午散會した。因みに同地方路線の第二期工事は宇美太宰府線延長七千五百米突工費十一萬七千圓も引續き起工の豫定である。

道路交叉問題の行惱み

豫てから懸案となり居る、福岡縣大川鐵道の柳河大牟田延長線は既に設計を終了し先決問題たる大牟田市内踏切番問題も、大牟田保線區との打合も済み此の上は縣との交渉さへ解決せば早く着工の運びとなる豫定であるが、縣當局よりは柳河大牟田間の交通益々頻繁なること明かなるを以て該

延長線敷設に伴ひ他の高速度交通機關其の他一般交通上に危険を及ぼさざる様該延長線と國道或は府縣道との交叉箇所は凡て高架線となすべく命じたるも、交叉箇所全部を高架線となすとせば其の工事費のみにても莫大の額に上るを以て縣からの命令は當然のことながら會社當局は相當惱まされ居ると。

福岡縣下大牟田の

二縣道大擴張工事

大牟田市築町より上官町花園町を経て市外駛馬村宮原より萬田櫻町に至る府縣道萬田線は、大牟田市及び駛馬玉川村熊本縣五名郡平井村方面とに於ける唯一の道路なるを以て近時その交通量著しく激増し大牟田市と之が郊外とを結ぶ重要縣道となり又大牟田市東新町より銀水村三川村を経て山門郡瀬高町に至る瀬高線も重要産業道路として、縣當局では兩府縣道の擴張計畫を立て

ゝあるが、昭和四年度に於ては瀬高線を五萬圓の工費で一部着工する事となり既に測量を終り家屋移轉交渉迄に進んでゐる。萬田線も四年度に二萬圓の工費で一部着工する事となり既に中心測量を終へ、平面測量縱橫斷測量に着手し本月中旬迄に測量を終了する見込で之が終了と同時に土地買収家屋移轉等の調査に着手する豫定であるが、該設計に依れば現在幅員二間を幅員五間に擴張し花園町の大牟田市駛馬村の境界より宮原天満宮後に出で、駛馬村一部の三角で從來の縣道に連絡する様變更し築町の基點の一部分を更正する事となつてゐる。

× × ×